

平成14年7月教育委員会定例会会議録

報告事項

報 第 8号 和歌山県教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について

森総務課長から県教育委員会公告式条例の一部を改正する条例が7月5日に公布されたことに伴い、教育委員会規則においても県の公告式条例と同じように事務の効率化を図るため教育長の署名を不要とすること、天災事変等により県報に搭載できない場合は特例を設けるという2点を改訂する。この特例は県庁前の掲示場、及び公衆の見やすい場所に掲示するということであると説明したのに対し、委員から公衆の見やすい場所とはどういう所かとの質問があり、総務課長から振興局の窓口であると答弁があった。

以上の結果、異議なく承認された。

報 第 9号 優良PTA文部科学大臣表彰に係る被表彰候補団体の推薦について

平成14年度優良PTA文部科学大臣表彰に三川小学校PTAを推薦する旨の報告があり、異議なく承認された。

付議事項

議案第15号 御坊商工高等学校への「普通科」「工業技術科（仮称）」の設置及び単位制高校への改編（案）について

西畑教育企画課長から、御坊商工高校は日高高校から商業科、機械科が分離独立して設置されて以来、地元の専門高校として有為な産業人の育成に努めてきた。しかし、社会構造の変化や高校進学率が上昇する中で、進路希望や学習ニーズ等が多様な生徒が入学してきており、進学を希望する生徒や、専門性の高い学習への対応が難しい生徒が増えている。今後、地元に着した特色ある学校づくりを推進し、個々の生徒の特性や進路に応じて、多様な選択が可能な選択幅の広い教育課程を編成できるようにするた

め、商業に関する学科を募集停止とし、新たに普通科を設置するとともに、工業に関する学科を統合し、工業技術科（仮称）とする。またこれに伴い、両科とも単位制にし、2学期制を併せて導入する。また、校名を変更する予定であるがこれについては後日諮る予定であると説明があった。

委員からどれくらいの規模を予定しているかと質問があり、課長から、14年度募集定員が工業に関する学科が3学級120名、商業に関する学科が5学級200名でトータル320名で、現在は8学級規模の学校であるがかなり欠員があるため、学校基本調査の結果等を踏まえて募集定員を検討していくと答弁があった。またそれに対し委員から、教育委員会としても広報活動等を含めた支援が必要であるとの意見があり、課長から、日高地方には全日制の本校で普通科は日高高校のみで、以前から日高地方のPTAを中心として普通科の学校を増やしてほしいと要望があり、これらを含めて検討しながら決めていきたいと答弁があった。

別の委員が、普通科に替えた方が進学に有利であるということかと質問したのに対し、現在県下の普通科に通っている生徒の約半数が大学、短大、専門学校に進学している。新設する普通科については大学進学を目指す人文系列と、基礎基本を身につけさせ情報活用の技術、芸術文化、スポーツ活動等の学習を行う教養カルチャー系列、今までの商業科の科目を取り入れたビジネス系列の3系列を設け、多様な子どもに対応していこうと考えていると答弁があった。

別の委員から、御坊商工については賛成であるが、工業であれば工業、商業であれば商業でそれぞれに特化した学校が必要であると意見があった。

別の委員から発表はいつするのかとの質問に、承認されれば明日にでも発表するとの答弁があった。

以上の審議の結果、原案どおり決定した。

議案第16号 平成14年度同和教育推進協議会委員の委嘱（案）について

一山生涯学習課長から、平成14年度和歌山県同和教育推進協議会委員について、今までの20名を10名とし新たに6名を委嘱する旨の説明に対し、委員から和歌山県の同和教育基本方針とのかかわりについてどう考えているのかとの質問に対し、県とし

では現在同和教育基本方針にのっとり施策を進めているところであり、同協議会に方針の見直しを諮る予定はないと答弁があり、原案のとおり決定した。